

◆各案（0案～3案）の基本的な考え方

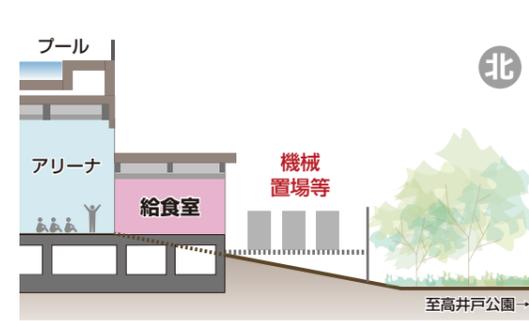
- ・普通教室は全て南向き配置
- ・各学年は1フロアに集約
- ・普通教室と特別教室を明快にゾーニング
- ・将来の児童・生徒数増加を見据えた拡張性を確保
- ・職員室は小・中別々に、それぞれのグラウンドに面した1階に配置
- ・災害時の活用を考慮し、アリーナは小・中それぞれ1階に配置
- ・小中学校間の区道を「スクールモール（南北軸）」として整備

**スクールモール（南北軸）：**  
小・中学校の間の道路を、  
**学校と地域の連携・共用の基幹部**と  
位置付けたうえで、**地域の防災力の  
向上や日常的な安全性向上への  
貢献**を目指す。

※1：北側斜面地に学童クラブを配置した場合  
(0案、1案、2案)



※2：北側斜面地に給食室を配置した場合（3案）



**サブ動線（東西軸）：**  
中学校北側スペースにつながるよう小学校1階  
にピロティを設置。提案の趣旨は次の3点。  
①小・中学校と地域の**自然な交流が生まれやすい**  
②災害時やイベント開催時に**小・中グラウンドの  
連携、一体的運用**が図りやすい  
③地域動線が東西軸に集約し、  
**ゾーニングが明確化する**

		0案：プロポーザル提案（第8回懇談会）	1案：改善提案その1（小学校1年生1階案）	2案：改善提案その2（サブ動線案）	3案：改善提案その3（サブ動線+学童南側案）
配置プラン (1階)					
凡例		<ul style="list-style-type: none"> <li>▲ 児童・生徒出入口</li> <li>▲ 地域開放出入口</li> <li>▲ 学童出入口</li> <li>▲ 給食搬入口</li> <li>→ 児童・生徒動線</li> <li>→ 学童動線</li> </ul>			
計画案の特徴		<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中の昇降口を1階南側に配置</li> <li>・給食室を建物中央、学童クラブを北側に配置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中の昇降口をスクールモール（南北軸）に面した位置に配置</li> <li>・小学校1年生の普通教室を1階南側に配置</li> <li>・給食室を建物中央、学童クラブを北側に配置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中の昇降口をスクールモール（南北軸）に面した位置に配置</li> <li>・小学校1階にピロティを設け、小中学校を東西軸でつなぐサブ動線（東西軸）を確保</li> <li>・小学校の普通教室前のデッキは高井戸公園側に配置</li> <li>・給食室を南側、学童クラブを北側に配置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中の昇降口をスクールモール（南北軸）に面した位置に配置</li> <li>・小学校1階にピロティを設け、小中学校を東西軸でつなぐサブ動線（東西軸）を確保</li> <li>・小学校の普通教室前のデッキは高井戸公園側に配置</li> <li>・給食室を北側、学童クラブを南側に配置</li> </ul>
教育環境	小学校1年生の教室環境	○ 小学校低学年の教室が1フロア（2階）にまとまるため、異学年交流が図りやすい	○ 児童の体格を考慮し、小学1年生の教室を1階南側に配置⇒グラウンドへアクセスしやすい⇒公道に面するため、落ち着いた環境にならない恐れあり	○ 小学校低学年の教室が1フロア（2階）にまとまるため、異学年交流が図りやすい	○ 小学校低学年の教室が1フロア（2階）にまとまるため、異学年交流が図りやすい
	小・中学校の交流	△ 小・中学校の昇降口を南側道路に面して配置⇒各々に独立した構えとなる	○ 小・中学校の昇降口をスクールモール（南北軸）に面して配置⇒児童・生徒がお互いの存在を認識しやすくなる	◎ 小・中学校の昇降口をスクールモール（南北軸）に面して配置し、それらをつなぐようにサブ動線（東西軸）を計画⇒児童・生徒の自然な交流が生まれやすい	◎ 小・中学校の昇降口をスクールモール（南北軸）に面して配置し、それらをつなぐようにサブ動線（東西軸）を計画⇒児童・生徒の自然な交流が生まれやすい
	グラウンドの利用しやすさ	◎ 昇降口からグラウンドまでの距離が近い（南側通路を經由）	△ 昇降口からグラウンドまでの距離が遠い（南側通路を經由）	◎ 昇降口からグラウンドまでの距離が近い（サブ動線を經由）	◎ 昇降口からグラウンドまでの距離が近い（サブ動線を經由）
学童クラブ等	学童クラブ育成室の環境	○ 育成室を西側や東側に配置して採光を確保	○ 育成室を西側や東側に配置して採光を確保	○ 育成室を西側や東側に配置して採光を確保	◎ 育成室は南側配置となるため採光を確保しやすい
	学童クラブの遊び場	◎ アリーナと隣接しているため、移動が楽で利用しやすい また、北側斜面地を活用した屋外遊び場の確保が可能	◎ アリーナと隣接しているため、移動が楽で利用しやすい また、北側斜面地を活用した屋外遊び場の確保が可能	◎ アリーナと隣接しているため、移動が楽で利用しやすい また、北側斜面地を活用した屋外遊び場の確保が可能	△ アリーナと距離が離れるため、移動しづらく利用しにくい また、屋外遊び場の確保が困難で多目的広場を兼用する
	北側斜面地の有効活用	◎ 北側斜面地を活用して、子どもの遊び場の計画が可能 ※1	◎ 北側斜面地を活用して、子どもの遊び場の計画が可能 ※1	◎ 北側斜面地を活用して、子どもの遊び場の計画が可能 ※1	△ 北側斜面地は給食室の裏側となるため、機械置場等、バックヤード的な使い方となる ※2
管理運営・安全性・防災	セキュリティ（安心・安全）	△ 小・中学校の昇降口が各々南側を向いているためお互いを見守る関係が生まれにくい	◎ 小・中学校の昇降口および守衛などの管理諸室がスクールモール（南北軸）に対して向き合うため、防犯上有効である	◎ 小・中学校の昇降口および守衛などの管理諸室がスクールモール（南北軸）に対して向き合うため、防犯上有効である	◎ 小・中学校の昇降口および守衛などの管理諸室がスクールモール（南北軸）に対して向き合うため、防犯上有効である
	地域開放時の管理しやすさ	△ 各入口が分散しているため、管理の一元化が図りにくい	○ 地域動線はスクールモール（南北軸）に集約しているが、グラウンドを地域開放する際に、管理がしにくい	◎ 地域動線をサブ動線（東西軸）に集約し、ゾーニングを明確化することで、管理の一元化が図りやすい	◎ 地域動線をサブ動線（東西軸）に集約し、ゾーニングを明確化することで、管理の一元化が図りやすい
	歩車分離	△ 車（給食搬入用）はスクールモール中央からアクセス⇒児童・生徒動線・地域住民動線との歩車分離が難しい	△ 車（給食搬入用）はスクールモール中央からアクセス⇒児童・生徒動線・地域住民動線との歩車分離が難しい	○ 車（給食搬入用）は南側道路からアクセス⇒児童・生徒動線・地域住民動線との歩車分離が可能	○ 車（給食搬入用）はスクールモール北側からアクセス⇒児童・生徒動線・地域住民動線との歩車分離が可能
	災害時・イベント開催時の対応	△ 小・中学校グラウンドの連携や一体的運用が図りにくい	△ 小・中学校グラウンドの連携や一体的運用が図りにくい	◎ サブ動線（東西軸）により、小中グラウンド同士および高井戸公園（広域避難場所）との連携が図りやすい	◎ サブ動線（東西軸）により、小中グラウンド同士および高井戸公園（広域避難場所）との連携が図りやすい